

シカ被害対策等のためのワナ技術向上講習会（令和7年12月16日）
【九州森林管理局保全課・宮崎南部森林管理署】

宮崎県南の南那珂地区は、従来シカの生息が確認されてない地域でしたが、近年ではシカの目撃情報や鳴き声が頻繁に聞かれ、捕獲も年に数頭ですが確認されるようになっています。

このため、シカの生息域拡大が懸念されることから、地域の行政機関や猟友会によるシカ侵入対策連絡会議などが開催されています。

このようなことから、シカわなの技術向上を目的とし、国有林からの技術支援を活用して、宮崎県南那珂農林振興局が主催、九州森林管理局保全課および宮崎南部森林管理署の協賛で講習会が開催されました。

講習会には、小林式誘引捕獲法の発案者である、和歌山森林管理署の小林正典総括治山技術官を講師として招き、誘引捕獲法だけでなく、シカの生態や様々な捕獲器具などについても学ぶことができました。

当日は、地元の猟友会や行政機関だけでなく、近隣の振興局や市町村からも関係者が集まり、日南市北郷町の福祉センターで資料を基に座学を行った後、近くの国有林で実習を行いました。

座学ではあまり発言はありませんでしたが、実習で誘引捕獲法を行うと、石や餌の置き方からシカの習性などについて質疑が交わされ、参加者がバネの収納に苦戦していると講師がやさしくサポートしたり、シカ以外にもイノシシなどの獣害に関する質問が出るなど、和やかな雰囲気の中で講習が行われました。

最後に、講師の小林さんより「シカの生息が限られている地域では、周囲に餌が残っているので誘引捕獲法が難しい側面もありますが、その場に適した捕獲法でシカが増える前に数をコントロールしてください。」と言葉をいただき講習会が終了したところです。



● 座学（日南市北郷町福祉センター）



● 実習（大荷田国有林 140 か小班）



● 講師：小林 正典さん（和歌山署治山総括）



● ワナ設置の実習